

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立羽村高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主任教諭(総務主任兼務)＝事務局長、総務部員3名 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、総務主任、各学年主任
計10名
- (4) 協議委員の構成
明星大学教育学部教職担当客員教授、都立羽村特別支援学校校長、羽村市立羽村第二中学校長、
羽村市立松林小学校長、羽村市教育委員会指導主事、福生警察署生活安全課少年係、
NPO法人育て上げネット執行役員、羽村市緑ヶ丘三丁目町内会長、
羽村市富士見平第一町内会長、羽村市青少年対策松林地区委員会会長、PTA会長、
東京都学校経営支援センターアドバイザー 計12名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年6月24日（金）内部委員10名、協議委員10名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和4年11月18日（金）内部委員10名、協議委員8名
授業公開、これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和5年2月10日（金）内部委員9名、協議委員6名
授業公開、これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年6月24日（金）内部委員5名、協議委員3名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第2回 令和4年11月18日（金）内部委員5名、協議委員2名
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
 - 第3回 令和5年2月10日（金）内部委員5名、協議委員2名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒	対象：616人	回収：517人	回収率：83.9%
・12月 保護者全員	対象：616人	回収：304人	回収率：49.4%
・12月 地域・住民	対象：90人	回収：42人	回収率：46.7%
・12月 教職員	対象：43人	回収：41人	回収率：95.3%
- (3) 主な評価項目
 - ・全般（学校に関する満足度）
 - ・学習活動（授業の満足度、家庭での学習習慣）
 - ・特別活動（部活動・学校行事の満足度）
 - ・生活指導（身だしなみ、公共の場でのマナー（交通マナーなど）、時間の厳守、清掃活動）
 - ・進路指導（進路情報、進路意識）
 - ・学校運営（学校の相談体制、保護者への情報伝達、本校への期待）
 - ・ICT端末・アプリケーションを用いた学習活動

(4) 評価結果の概要 (校長や学校全般への意見・提言内容)

- ・本校での学校生活について、生徒及び保護者の80%以上が「充実している」と回答している。
- ・生徒および保護者の70%以上が本校の授業に満足している。
- ・本校生徒の電車や自転車のマナー・交通ルールについて、地域の60%以上が「守ることができている」と回答していて、昨年度に比べて10%以上増加している。
- ・部活動について、「進んで参加している」と回答した生徒は40%で、昨年度と比べて増加していない。
- ・生徒及び保護者の80%程度が、本校の進路指導に満足している。
- ・校内がきれいであると感じている生徒は、全体の40%未満である。
- ・本校の施設・設備について、教職員は大変物足りなさを感じている。
- ・「ICTアプリ等を活用した学習活動がなされている」と感じている割合が、生徒・保護者・教職員のすべてで昨年度より大幅に減少した。

(5) 評価結果の分析・考察 (校長や学校全般への意見・提言)

- ・回収方法の変更により、保護者の回答率が昨年度と比べて倍増した。地域については、アンケート配布数を増やしたことにより、回答率は減少したが回答数は増加した。今後もより多くの意見を聞き、それを学校の改善に生かすことが必要である。
- ・一人1台端末を各科目で十分に活用できていないため、日常的に活用できるよう、教員の研修、生徒への端末の使い方の説明等が必要である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題 (学校の自己評価へ反映)

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・本校の生活指導の取り組みが、保護者や地域に伝わっていると認識できた。
- ・「総合的な探究の時間」で行っている羽村市との連携について、地域の方々は興味・関心があり、好評であることが分かった。
- ・授業公開を実施したことで、本校の実態が伝わり、より具体的な感想や意見を伺うことができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・学校全体で共通意識をもった生活指導を継続することが必要である。
- ・「総合的な探究の時間」での取り組みについて、積極的に外部に情報提供すべきである。
- ・本校が良くなったと感じている協議委員が多く、様々な取り組みに対しても好意的な意見が多かったため、それらの取り組みを今後も継続していくことが必要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項 (学校経営計画へ反映)

(1) 学校運営

- ・授業力の向上に更に取り組む。学期ごとの各種校内研修、OJTを活用することにより指導技術を向上させ質の高い教育を提供する。そして生徒が意欲的に学習に取り組む姿勢を養う。
- ・組織的に生徒指導を強化し、生徒の規範意識を育て、規律ある学校生活を実現する。
- ・学校行事、部活動などをさらに活発にし、生徒の自主的な活動を推進する。
- ・キャリア教育を充実させ、生徒の進路希望を実現する。
- ・カウンセラー、ユースアドバイザーなどと連携し、教育相談の充実を図る。
- ・学校からの情報発信を工夫し、さらに地域に対し、本校への理解の促進を図る。
- ・自助、共助を意識した防災教育に取り組む。

(2) 学習活動

- ・ICTを活用した学習指導を行う。
- ・OJTを活用し授業力を高める。
- ・授業規律を整えることを徹底し、生徒が授業に真剣に取り組む姿勢を高める。
- ・教科会などを主体に生徒の学力向上の取り組みに努める。
- ・放課後補習教室などを利用し、個々の生徒に応じた学習指導を行い、学習効果を高める。

(3) 特別活動

- ・部活動と学校行事、生徒会活動の活性化に組織的に取り組む。
- ・地域行事への参加を推進し、市の行事(花いっぱい運動、清掃活動等)に積極的に参加する。

(4) 生活指導

- ・PTAや地域の諸団体と連携を図り、交通安全教育に力を入れる。生徒部の教員を中心に、登下校時の安全指導の充実を図る。

- ・身だしなみ指導を徹底する。
- ・規範意識向上の取り組みを発展させ、さらに学校全体で組織的に強化して取り組む。
- ・生徒に「安心と安全」の学校生活を保障すると同時に、生徒が本校生としての誇りを持つようにする。

(5) 進路指導

- ・生徒の進路実現率の向上に取り組む。外部機関と連携したキャリア教育の充実、「学校外における学修」として協定を結んだ各機関との関係をより強化する。
- ・学年と進路部との連携を密にし、外部機関との連携も図りながら、進路先未定者の減少を図る。
- ・個々に応じた進路指導を徹底し、最新情報の収集と提供をより積極的に行いながら、手厚いフォローを心がける。

(6) 健康・安全

- ・生徒への普通救命講習などを充実し、安心・安全の意識を高める。
- ・生徒相談室の利用を促進し、教育相談の充実を図る。
- ・健康診断の結果をもとに生徒の健康維持に努める。
- ・清掃活動を推進することにより、校内美化にさらに努め、教育環境を整える。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 7人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4	3	2				

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 34回 延34人

【成果】

- ・外部の視点からの助言を参考に、学校運営の改善に努めた。また、連携機関を開拓した。

8 その他

- ・評価精度の更なる向上のため、令和5年1月13日（金）に、学校運営連絡協議会委員等を対象とした臨時の学校公開を実施し、7名が出席した。